

令和 6 年度 第 3 回 学校運営協議会

令和 7 年 3 月 1 2 日 (水) 9 : 3 0 ~

祖父江中学校会議室 1

1 地域学校協働活動推進員挨拶

- ・ 地域学校協働活動推進員として、祖父江中学校と地域とのコーディネーター役として、務めていきたい。普段思っていること、疑問に思っていることなど、さまざまな情報を共有していきたい。

2 校長挨拶

- ・ 本年度、最後の学校運営協議会になる。3 月 7 日に卒業式が行われ、1 7 6 名が卒業していった。姿勢、拍手、返事、合唱など大変立派で感動的な式となった。本日は、次年度の学校ビジョンについても、貴重なご意見をいただきたい。

3 運営協議会委員自己紹介

4 本年度の報告

- | | |
|--------------------------|-------------|
| (1) 地域学校協働活動について | 【教 頭／資料 1】 |
| (2) 本校教育に関するアンケートの結果について | 【教 頭／資料 2】 |
| (3) 教育活動について | 【教務主任／資料 3】 |
| (4) 施設・設備について | 【校務主任／資料 4】 |

5 協議事項

- | | |
|----------------------|-------------|
| (1) 令和 7 年度の学校運営について | |
| ア. 学校要覧について | 【教務主任／別 紙】 |
| イ. 年間行事予定について | 【教務主任／資料 5】 |
| (2) 修学旅行積立費用の徴収について | 【教 頭／資料 6】 |

6 意見交換

「子どもたちの『粘り強さ』について」

【委 A】 来年度の学校要覧にあるスローガンの言葉に「粘り強さ」があげられている。最近の子どもたちを見ていると、「粘り強さ」に欠けると感じることが多い。校区の小学校の学校運営協議会でも、「粘り強さ」が足りないという話題があがっていた。中学校では、どのような場面で「粘り強さ」を身に付けたり育んでいったりすることができるか。

【教務】 「粘り強さ」には、主体性が大事だと考えている。授業や多くの活動の場面で、子どもたちが主体的に、やってみたいと思えるような取り組みを講じていく必要がある。子どもたちには、「失敗してもいいから挑戦していこう」という気持ちをもたせてあげることが大切。そして、失敗したときに、大人の声かけや働きかけも重要だと考える。子どもたちの主体性を大切に活動には、多くの時間を要するが、大事にしなければならないところはしっかり時間をかけて育てていきたい。

【委 B】 何か一つでも、あきらめずに頑張ったといえる経験があるとよい。そして、多くの成功体験を積ませてあげたい。しかし、社会に出てから、すぐに会社を辞めてしまう大人もいる。

あきらめるという選択肢も悪いことではないと考えたい。

【委A】 最近の子どもたちは、「間違っはいけない」と思っている子も多い。

【委C】 間違えてしまうのは、積極的に挑戦している証拠だと思う。

【委B】 周りの大人や子どもたち自身が、間違いや失敗しても大丈夫という雰囲気をつくることで、間違いや失敗を怖がらなくなると思う。

【委C】 最近では、発達障害の子も増えてきている。そういった子どもたちを支える先生たちを見ていると、厳しさの中にしっかり子どもに寄り添っている様子を目にする。一人一人、受け止め方も異なるので声のかけ方は大切にしたい。褒めて育てるという考え方もあるが、愛情のある厳しさも時には必要。叱られ慣れていない子どもたちが増えているのが現状だと思う。

「今後の部活動の在り方について」

【委B】 「粘り強さ」は、部活動で育てられる場面も多いと思う。今後、部活動が地域移行されることで、学校での部活動の時間が減少したり、いろいろな学校の生徒と一緒に活動したりすることで、子どもたちの心の中で「あの学校に勝ちたい」という思いが小さくなっていくことを懸念している。

【委C】 部活動については、保護者が中学校や小学校の体育館を借りるなどして活動場所をつくってあげればよいと思う。今でも、体育振興会を通して中学校の体育館を借りて練習している部活動もある。しかし、同じ時間帯に利用したい団体が重なった場合、どの団体が利用するかについて、話し合いや抽選になることが多く、なかなか予約できないこともある。

【委B】 そのような子どもたちの頑張りを地域の方にも見てもらえるように、大会で優勝したら校舎に横断幕を掲げてみてはどうか。結果を出したら、多くの人前で褒めてあげることでできる環境を整えてあげたい。

【委A】 今後、部活動がなくなると思っている保護者の方が多いようである。

【教頭】 部活動の地域移行については、まだ十分な周知が図れていないのが現状であるが、本日、tetoru（てとる）で配信した市からの「稲沢市部活動地域移行だより」では、現段階での休日の活動拠点案が示されたところである。

「働き方改革にかかる業務改善について」

【委A】 学校評価アンケートの「働き方改革にかかる業務改善」について、一か月の勤務時間を超える在校時間が80時間以上になっている先生方もいるという報告があったが、その原因は何か。

【教頭】 在校時間の現状については、時期によって変化がある。年度当初が特に多く、学期末の成績処理、学校祭の準備期間などがあげられる。また、3年生の進路相談の期間など、学年によっても差がある。

【委B】 朝早くから働いている先生もいますね。

【校長】 働き方改革に向けて、教職員の勤務時間を保護者の方に理解していただくためにも、日課や下校時刻の見直しについて、年度始めに伝えていきたい。

※ 2年生 → 1年生

※ 案内の途中で校務より、施設及び設備についての話題提供

8 令和7年度学校運営協議会予定

第1回 5月28日(水) 9時30分

第2回 11月12日(水) 9時30分

第3回 3月11日(水) 9時30分